

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年11月27日（水）

2 確認箇所

覆土式一時保管施設（一時保管エリアL）（図1）

3 確認項目

覆土式一時保管施設（一時保管エリアL）解消作業の状況

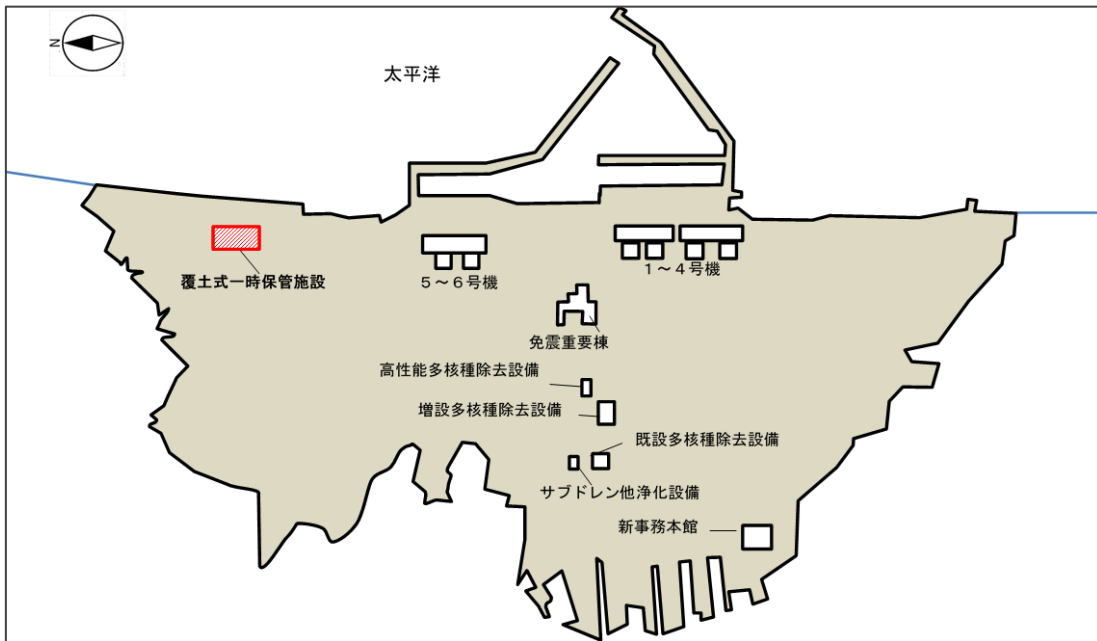
4 確認結果の概要

令和10年度中の瓦礫等固体廃棄物の屋外一時保管解消に向け、東京電力HDでは、覆土式一時保管施設（一時保管エリアL）に一時保管された瓦礫類を取り出し、金属容器へ収納した後、固体廃棄物貯蔵庫へ保管する計画であり、本年8月から令和10年度末までの予定で実行されている。

当該エリア内には、第1～第4槽まで計4つの一時保管槽があり、今般、第4槽における第2層目（地中に埋設された瓦礫類を覆う覆土層が3層により構成されている。）の遮水シート及び覆土層の撤去作業が11月18日から開始されたことから、その進捗状況について確認した。（前回確認：[令和2年11月17日](#)）

<確認結果の具体的な内容等>

- ・一時保管エリアLの第4槽では、第1層目の遮水シート及び第1層覆土の撤去は完了（本年8月～10月）し、第2層目の遮水シート及び第2層覆土の撤去作業が開始されていた。（写真1）
- ・第2層覆土撤去時における懸念事項として、覆土の撤去に伴い周辺の空間線量率が上昇する可能性があることから、現場でのモニタリング体制や作業環境・安全対策の実施状況を確認し、以下の取り組みが適切に実施されていることを確認した。（写真2～4）
 - ① ダストサンプリング装置を設置し、定期的に作業場周辺環境の放射性ダスト濃度を確認している。
 - ② 周辺環境における空間線量率の変動が想定内であるかどうかを確認するため、作業場とモニタリングポスト（MP-1）との中間地点に空間線量率を計測できる表示器を設置し、作業管理の目標値（BG平均+4.5 μ Sv/h）以内であるかどうかを常時監視する。
 - ③ 作業が完了していない状態（休止・継続中）にあつては、遮水シートとは別に覆土が飛散流出しないよう保護シートにより作業現場を適切に養生する。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
第2槽及び第4槽の状況①
(第2槽は、3層構造の覆土状態を維持。第2槽と第4槽の間にダストサンプリングの採取口が設けられている。)



(写真1-2)
第4槽の状況②
(第1層の遮水シート・覆土撤去が完了し、第2層目の遮水シートが露出。同シートを剥がした部分には、保護シートにより養生中)



(写真 2 - 1)
ダストサンプリング中を示す標示
及び採取口の状況



(写真 2 - 2)
ダストサンプリング装置の設置状況
及び試料の吸引状況



(写真 3 - 1)
第 4 槽の覆土撤去作業場所からモニ
タリングポスト (MP-1) との
中間地点 (約100m位置) に設けら
れた空間線量率を計測する装置
(当日の計測値 : 0.30 μ Sv/h)



(写真 3 - 2)
同装置に掲示されている作業管理の
目標値 : 4.50 μ Sv/h



(写真4)
モニタリングポスト (MP-1)
における空間線量率の計測値
(当日の計測値 : $0.4 \mu\text{Sv/h}$)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。